

宇治市歴史的風致維持向上計画(素案) に対する市民意見の結果概要

【意見募集期間】

平成23年9月15日から平成23年10月14日まで

【パンフレット配布結果】

「市民の声投書箱」を設置している施設、歴史資料館及び文化センターの28施設、市役所1階行政資料コーナーと歴史まちづくり推進課のカウンター、希望者や商工会に加盟する本計画関係者などに、合計500部を配布

【意見提出者数及び意見数】

意見提出者数 12名

分類	意見数
総論	5
1章(宇治市の概要)	1
2章(歴史的風致)	1
3章(方針と推進体制)	3
4章(重点区域の設定)	1
5章(文化財に関すること)	3
6章(事業に関すること)	11
その他	3
合計	28

【意見の概要と宇治市の考え方】

	意見の要旨	意見に対する考え方
総論 計画全般	<p>「山紫水明」のこの地に住んでいることに幸せを感じる</p> <p>この計画は住民の願いである。</p> <p>宇治市の歴史的景観に愛着があり、歴史的遺産があることは自慢である。</p> <p>歴史を考え理解することで、郷土愛が育まれ、市民がまちづくりに目を向けることになると思う。</p> <p>この計画により、住民が誇りを持って生活し、景観が保全され、住んでいてメリットが良かったと思える施策を実施してほしい。</p>	
1章 宇治市の概要	<p>宇治の歴史には巨椋池は重要だと思う。</p>	<p>「2.歴史の変遷」で詳細な記載をします。</p>
2章 歴史的風致	<p>黄檗山萬福寺は煎茶文化の発展に大きく関わり、また近世のころから今なお参詣者が訪れる地であり、歴史的風致が存在する。</p>	<p>ご意見のとおりであり、分布図に反映します。</p>
3章 方針と推進体制	<p>(方針)</p> <p>茶園の拡大や保全は大切だと思う。</p>	<p>基本方針に、伝統文化・伝統行事の継承と振興のなかで、茶業の振興に努めることとしています。</p>
	<p>(体制)</p> <p>子供から大人まで幅広く、情報を授受・発信できるシステムづくりが必要で、その際には参画したい。</p> <p>住民と顔を交えて話し合いができるようにしてほしい。</p>	<p>計画を推進するうえで、市民の意見を取り入れて、計画の変更や追加を図ることとしており、ご意見を参考に具体的な手法を引き続き検討します。</p>

<p>4章 重点区域の設定</p>	<p>宇治茶で有名な商店は宇治だけでなく小倉地域にもあり、重点区域をもっと大きくしてはどうか。</p>	<p>重点区域は、法律により国指定文化財があり、かつ維持向上すべき歴史的風致が重層する地域としているため、小倉地域を重点区域に設定することはできませんが、様々なソフト施策は全市域を対象に取組みます。</p>
<p>5章 文化財に関すること</p>	<p>重点区域に関わらず、地域の身近な自慢できる歴史遺産や歴史的風致を再認識する取組を実施してはどうか。</p>	<p>市全域を対象に、市民による身近な地域の歴史・文化遺産の掘り起こしができる取組を検討することとしています。</p>
<p></p>	<p>文化財防災について都市防災の観点から、具体的な考え方及び事業を打ち出すべきではないか。</p>	<p>都市防災の必要性は認識していますが、具体的な施策は現在検討中のため、引き続き関係者等と協議を行い、具体的になったものから事業の追加を行います。</p>
<p></p>	<p>歴史を伝えるものとして、埋蔵文化財は大切なものであり、出土品は発掘現場に保存してはどうか。</p>	<p>出土品の保存については、文化財保護法に基づき行っており、発掘現場での保存は困難です。宇治市歴史資料館では企画展示を実施しており、出土品の公開に努めています。</p>
<p>6章 事業に関すること</p>	<p>(追加事業) 宇治観光の交通対策、特に駐車場対策と周遊観光動線の誘導施策について、具体的な事業を打ち出すべきではないか。</p>	<p>観光交通対策の必要性は認識していますが、具体的な施策は現在検討中のため、引き続き関係者等と協議を行い、具体的になったものから事業の追加を行います。</p>
<p></p>	<p>塔の島のバリアフリー化を実施してほしい。</p>	<p>府立宇治公園は歴史的風致と関係がある施設であり、事業化に向けて関係者に要望します。</p>
<p></p>	<p>周遊観光コースを充実させ、ガイドブックへの掲載を行ってはどうか。</p>	<p>「観光振興計画策定事業」のなかで、周遊コースの充実などを検討していきたいと考えています。</p>
<p></p>	<p>茶道教室や煎茶道教室を増やす取組をしてはどうか。</p>	<p>宇治茶振興にとって重要なことであり、市民主体での取組が進むことが望ましいと考えます。また、今後も市営茶室対鳳庵を活用し、市民や来訪者に利用を促します。</p>

6 章 事業に関すること	(追加事業) 無電柱化の推進とともに、高圧線・鉄塔の地中化が修景に効果的と思う。	現在、宇治橋通りを無電柱化する事業が行われています。今後も事業を推進し、その他の道路についても必要性及び実現可能性を検討します。 高圧線・鉄塔の地中化については、莫大な時間、費用がかかり、費用対効果の面から電力会社の協力を得ることは難しい状況です。
	宇治茶と名水は関係が深く、「七名水」を復活させる事業として宇治橋通りの整備にあわせ「喜撰井」を整備してはどうか。	宇治七名園や七名水は、宇治の歴史上重要であり、第1章に記載します。 事業化については、元来地域が利用していた井戸であり、地域が主体で活用に向けて検討していただきたいと考えます。
	史跡の整備は三室戸駅周辺に大きな影響を与え、「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」と整合性を図るうえでも、既に交通問題を抱えている宇治五ヶ庄線の三室戸駅北側について道路事業の追加をしてほしい。	三室戸駅北側は狭い道路にも関わらず自動車交通、歩行者が多い道路であることは認識していますが、歴史的風致の維持向上と直接関連する内容ではないので、道路整備の観点から関係課に伝え、事業の必要性及び実現可能性を検討します。
	(学校教育) 地域と協力し、小学校で身近な歴史が学べるようにすれば、子供たちにとって我がまちの自慢になるのではないかと。 価値のある景観の共有や認知のためには、子供のころからの文化に対する学校教育、家庭教育、地域教育が必要で、行政だけでは十分に伝えられず、住民の意識は低いように感じる。	宇治で学ぶ・宇治を学ぶ・宇治のために学ぶ「宇治学」を、小中一貫教育の取組の中で、総合学習として取り入れることを検討中であり、具体的な施策について関係課と引き続き協議をします。 なお、現在でも、総合的な学習の時間として、寺社の見学、茶摘み体験や茶香服、鶺鴒匠からの学習などを行っている学校があります。
	(太閤堤) 太閤堤歴史公園は、樹木の種類や配置に留意し、畿内のまほろば、癒しの場となるよう整備してほしい。	ご意見を参考に今後デザイン設計を行います。
	太閤堤歴史公園に交流ゾーンを設けることはよいことだが、高圧鉄塔があり、ゆっくり遊べる場所とは思えない。	送電は広域で考えられているものであり、この場所の鉄塔を移設することは難しいと考えています。

その他	<p>古い建物に住んでいるが、近年の大震災を思うと不安であり、住みやすさからはかけ離れ、商いの可能性はあっても生活には不向きである。</p>	<p>歴史的建造物の耐震化や修理については様々な技術があり、歴史的風致の維持向上に重要な役割を果たす建物については、助成制度があるため、個別相談・協議をしたいと思います。</p>
	<p>かつての旅人が佇んだであろう「亀石」「白川浜」「蛸ヶ淵」が、宇治川改修によりなくならないようにしてほしい。</p>	<p>宇治川改修は、市民の安全・安心のための事業です。また歴史的風致には宇治川は重要な要素のため、宇治川改修では景観に配慮する検討が行われています。今後も景観にできるだけ影響がでないよう国土交通省に要望します。</p>
	<p>お茶と水は切っても切れない関係であり、宇治茶のまちとして良質な地下水を利用できるようにしてほしい。</p>	<p>かつては宇治七名園や七名水と呼ばれたように、宇治には良質な茶園とともに、地下水が豊富であったと伝えられており、このような史実を今後も伝えていきます。</p>